

2015年度 行事開催報告



報告：会員交流企画委員会

ニュービジネス取組企業視察会

「ブラザー工業（株）の今までとこれからを知る」

開催日：2015年10月14日（水） 14時～17時

開催場所：ブラザーコミュニケーションスペース（展示場）

参加者：28名

名鉄「堀田駅」から南へ徒歩3分にあるブラザーコミュニケーションスペースを訪問しました。

1908年にミシンの修理販売会社として父親が創業した安井ミシン商会を、1925年に安井正義が「安井ミシン兄弟商会」と改称してミシンの国産化に取り組み、1932年に家庭用ミシンを量産化して以来、編機・家電・タイプライターなど、多角化の時代を経て現在はプリンティングを核とした情報機器を提供しているブラザー工業。

その発展と常に新しいものに挑戦していくDNAの秘密が知りたくて訪問しました。

始めに特大サイズの画面のあるコミュニケーションゾーンで、館長の三浦さんから現在のブラザー工業の説明をしていただいた後、松井副館長と古川さんの案内で館内を見学しました。



1790年に英国で発明された最古のミシンの展示。
1850年頃に米国で考案された現在のミシンの原型となるミシンの展示・・・、皆さん神妙な面持ちで説明に聞き入る。



1932年に安井ミシン兄弟商会により国産化されたミシン。
近代産業遺産に登録されている。

次葉へ



懐かしい脚踏式ミシンの操作に、慣れない足つきでチャレンジする参加者も・・・

お袋たちがやっていたようにはうまく回りませんでした。



昭和30年代のブラザーの多角化の時代

洗濯機 扇風機などの家電製品や家庭用編機に事業を拡大していく歴史を興味深く聞き入る参加者



本日の講演テーマであるヘッドマウントディスプレイの実物展示を装着して体感する



コミュニケーションゾーンに戻って、E&I事業推進部の篠田さんから、最新商品であるヘッドマウントディスプレイの開発経過や応用事例の説明を伺うことができました。

ブラザー工業の事業展開のポイントは、企画・開発・設計・製造などのあらゆる場面でお客様を第1に考える「**At your side**」な企業文化とのことでした。

おわり